

子どもを気質と環境から理解する スキーマ療法ワークショップ

今回のワークショップでは、主に児童～思春期への発達段階においての問題に焦点を当てた形でのワークショップを行います。スキーマ療法の素養を身に着けることで、児童～思春期のあらゆる支援に携わる方への支援のヒントとなることを目的とします。

日時 2016年 **12**月 **2**日(金)・**3**日(土)・**4**日(日) 3日間

10時00分～17時00分 会場／S-44教室 (S講義棟)

場所 国立大学法人 **福島大学**

〒960-1296 福島県福島市金谷川1番地

参加資格 子ども支援に関わる全ての専門職種および教職員

*全日程参加可能な方のみ

定員 **50**名

(参加資格を満たす方のうち、先着順とします)

講師 **大島 郁葉**

(千葉大学子どものこころの発達教育センター)

主催 福島大学子どものメンタルヘルス支援事業推進室

〒960-1296 福島県福島市金谷川1番地

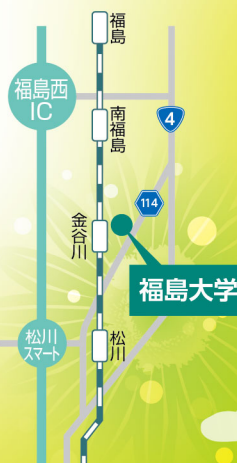
FAX **024-503-3414**

<http://cmhc.net.fukushima-u.ac.jp>

《ワークショップサイト》

<http://schema201612.jimdo.com/>

後援 福島県教育委員会
福島県臨床心理士会



スキーマ療法とは

スキーマ療法は、もともとはパーソナリティ障害やPTSDなどの複雑な疾病に対しての治療法として開発され、効果が確立されています。最近では、疾病にかかわらず、その人の気質や性格などの内的な問題、もしくは環境因からの外的な問題から生きづらさを抱える人に適応されることが多く、犯罪者、少数民族などのマイノリティ、被虐待体験を抱える子ども、自閉スペクトラム症の当事者などにも適応されています。

スキーマ療法は認知行動療法の治療構造を基盤としていますが、その中身はイメージ法・チェアワークなどの体験的技法を多く取り入れたり、精神分析的な要素があったりと、数々の精神療法を統合した心理療法と言えます。

講師紹介

大島 郁葉 (おおしま ふみよ) 先生

医学博士。臨床心理士。アドバンスレベル国際認定スキーマ療法士。千葉大学子どものこころの発達教育センター行動医科学部門特任助教。主な著書に『認知行動療法を身につける—グループとセルフヘルプのためのCBTトレーニングブック Challenge the CBT』金剛出版(共著 2011)、『認知行動療法を提供する:クライアントとともに歩む実践家のためのガイドブック』金剛出版(共著 2015)。

スキーマセラピーに関しては、2014年からInternational certification training of schema therapyを受け、2016年6月にadvanced schema therapist資格取得。現在、日本で唯一のアドバンスレベル国際認定スキーマ療法士の資格保持者。

福島大学 子どものメンタルヘルス支援事業推進室宛

FAX 024-503-3414

子どもを気質と環境から理解する スキーマ療法ワークショップ参加申込書

(ふりがな)			
お名前		所 属	
お電話番号	—	職 種	
メール アドレス			
ご住所	(〒 -)		